

地区名	クラブ数	会員数
豊科地区	6	454
穂高地区	18	1,186
三郷地区	8	765
堀金地区	3	178
明科地区	6	450
合計	41	3,033



題字 山田文明

第18号 2021年(令和3年)8月12日 発行

発行所

安曇野市シニアクラブ連合会

安曇野市社会福祉協議会内

〒399-8205 安曇野市豊科4160-1

TEL 0263-72-1871

発行者 藤岡 嘉

印刷 (株)総合印刷

コロナ感染症の充実した対策を考える



会長
藤岡 嘉

……と案じるばかりです。そのうち何とかなるだろう。と頼みの綱であるワクチン接種が始まり、安全と安心の希望が見えて来ました。

市シニアクラブの皆様いかがお過ごしですか。いまだコロナウイルス感染は収束の兆しを見せておらず、時の流れは早く、「東京五輪も無観客で開催され、多くのメダル獲得となりましたが、コロナウイルス対策もまさに正念場を迎えることになり、日常生活も落ち着かない毎日です。

又、季節も真夏を迎え熱中症対策や、豪雨・台風災害など、日本列島の自然災害防止のため避難指示、人命救助にかかわるなど、地球温暖化のひとつと云われている「線状降水帯」という新しい現象が、豪雨災害の原因であると報道されています。

一年半に及ぶコロナ感染症対策は失策であり、再度の緊急事態宣言時のリスク管理のあり方・各種催事に於ける行動意志決定のあり方は、責任者・リーダーの指揮命令に直結するものであり、非常に重要であると考えます。国民の命と暮らしを守ることを第一とし、夢と希望と感動を届けたいと政府は躍起になっていますが、感染者数の増加に跳ね返ってこなければ

コロナ禍はワクチン接種により終息が期待されています。G7(セブンの)の大国の間である日本国が、ワクチン開発の遅れは、全く無力でショックでした。コロナウイルスが発生した頃から話題となった、感染症対策・検査体制・保健所・医療機関関係の組織的な仕組みや、ワクチン開発の遅れが指摘されています。

「あづみ野の風」第18号発刊に寄せて



安曇野市長
宮澤 宗弘

「あづみ野の風」第18号の発刊を心よりお祝い申し上げます。日頃より、市政、とりわけ高齢者福祉にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴連合会は、本年四月に老人クラブからシニアクラブに名称変更を行い、そのイメージを一新されまし

終わりに会員各位が健康で過ごされ、日常生活が地域社会を明るく強い絆を持って活動される事を確信しております。

役員の皆様の創意と工夫を凝らした市役所ロビー作品展が五月に完全に実施されました。



市役所ロビー作品展の開場式でのテープカット

た。このことを契機に、更なる会員増を図られ、貴連合会が大きく飛躍されることをご期待申し上げます。市としても「健康長寿のまちづくり」を重点施策の一つに掲げ、取り組みを進めております。会員の皆様におかれましても、より一層の多彩な活動を通して、健康づくりや明るい長寿社会づくりにご協力いただければ幸いです。

さて、五月には市役所ロビーにて「第五回作品展」が二年ぶりに開催され、オープニングセレモニーでは僭越ながら会長の藤岡嘉様とともにテープカットを務めさせていただきました。写真・絵画・手工芸など全54点の力作は、どの作品も見応えがあり、会員の皆様の日頃から熱心に励まれている趣味や特技の造詣の深さに感銘を受けました。多くの皆様にアピールできたことと思います。



作品展会場内で工芸作品を鑑賞する宮澤市長

結びに、安曇野市シニアクラブ連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

安曇野市シニアクラブ連合会総会

副会長 下里 博 義

昨年度は、コロナ下のため役員会による縮小総会でした。一方、今年度の総会は、消毒とソーシャルディスタンスをとり、四月十七日(土)に豊科ふれあいホールに於いて全四十一単位クラブより各一名を目的に出席者を計り開催しました。



ソーシャルディスタンスを取り総会を開催

藤岡会長の挨拶では「シニアクラブ」への名称変更、お互いに助け合い励ましあって人生を生き

祝 藤岡会長、県シニアクラブ連合会の新会長に就任される

朗報！本年五月末日に県役員会の推挙により藤岡 嘉副会長が六月から長野県シニアクラブ連合会会長に就任されました。心からお祝いを申し上げます。



表彰を受ける田口さな江さんと齋藤文美さん

いくことの大切さの一端を述べられました。その後、功労者・優良クラブ表彰式があり議事に入りました。議事は、議長の的確な捌きによりすべて承認可決されました。当日は生憎の天候不順でしたが、有意義なひと時を過ごし閉会となりました。

功労者・優良クラブ表彰

■ 表彰規程第2条第1号該当

齋藤 文美 橋爪シニア倶楽部
田口さな江 ひといちばシニアクラブ

■ 表彰規程第2条第2号該当

川上 昭雄 アルプス区銀嶺会
山田 明人 アルプス区銀嶺会

■ 表彰規程第2条第5号該当

関原 史人 社会福祉法人 誠心
福祉協会 理事長

令和3年度安曇野市シニアクラブ連合会一般会計予算書

【収 入】		※単位=円	
款 項 目	本年度予算額	備 考	
1 会員会費	758,250	250円×3,033人	
2 助成金	5,082,500		
1 市助成金	4,335,000		
1. 単位クラブ活動交付金	1,714,000	単位クラブ助成	
2. 会員活動交付金	1,516,500	500円×3,033人	
3. 老人クラブ連合会助成金	455,000	本部事業	
4. 特別活動事業補助金	650,000	作品展・芸能大会	
2 社協助成金	747,000	共同募金助成金	
3 アルプス花街道事業	1,600,000	花いっぱい活動	
4 雑収入	14,085	預金利子等【収入科目調整】	
5 繰越金	182,665	令和2年度からの繰越金	
計	7,637,500		

【支 出】			
款 項 目	本年度予算額	備 考	
1 会議費	245,000		
1. 総会費	25,000	4/17(土)総会開催	
2. 役員費	210,000		
3. 監査会費	10,000	4/1(木)会計監査	
2 事務費	108,000		
1. 消耗品費	30,000		
2. 印刷製本費	36,000	印刷代月3,000円×12ヶ月分	
3. 通信運搬費	42,000	切手、葉書、封筒	
3 事業費	4,014,000		
1 市老連事業費	3,214,000		
1. 研修費	90,000	中富ブロック研修会、女性指導者研修会	
2. 県大会参加費	130,000	10/22岡谷市	
3. 結婚慶祝費	100,000		
4. 表彰費	30,000		
5. スポーツ大会費	80,000	マレットゴルフ大会、生涯スポーツ大会	
6. 県老連負担金	264,000	87円×3,033人	
7. 会員以外の参加促進費	70,000		
8. 広報発行費	200,000	会報年2回発行	
9. 特別事業費	650,000	豊科公民館作品展、芸能大会	
10. アルプス花街道事業	1,600,000		
2 支部事業費	800,000	収入減に伴う、調整結果値	
4 諸支出金	40,000		
1. 交際費	20,000		
2. 慶弔費	10,000		
3. 雑費	10,000		
5 助成費(単位クラブ活動補助)	3,230,500	市助の活動交付金の合計額	
計	7,637,500		

令和3年度安曇野市シニアクラブ連合会一般会計予算額
収入金額 7,637,500円 支出金額 7,637,500円 差引金額 0円

令和3年度 安曇野市シニアクラブ連合会 事業計画

月 日	内 容	場 所
4月 9日	市シニア役員会	豊科身体障害者会館
4月 17日	市シニア連総会	豊科ふれあいホール
5月 12日 ～25日	市役所コピー作品展	市本庁舎 1階東ロビーにて
5月	百歳賀寿贈呈者調査(県事業)	
6月 22日	市町村シニアクラブブロック研修会(県事業)	松本市
6月～11月	楽々太極拳教室(市事業)	各支部
6月	金婚・ダイヤモンド婚該当者調査(県事業)	
7月 29日	女性指導者研修会(県事業)	塩尻市
8月	会報「あづみ野の風」第18号発行	
8月	生涯スポーツ交流大会実行委員会(県行政事業)	松本合同庁舎
8月 20日頃	市シニア連 花いっぱい運動コンクール審査	市内一円
9月	市シニア連 作品展 & 芸能大会 第1回実行委員会	豊科身体障害者会館
9月	安曇野市社会福祉大会	豊科公民館
9月	生涯スポーツ交流大会(県行政事業)	信州スカイパーク
10月	交通安全教室(市行政事業)	穂高自動車学校
10月	市シニア連 マレットゴルフ大会	
10月 22日	第61回県シニアクラブ大会(県事業)	岡谷市
11月	市シニア連 作品展&芸能大会 第2回実行委員会	豊科身体障害者会館
11月 19日	市シニア連 作品展 事前準備	豊科公民館
11月 20日 ～24日	市シニア連 作品展	豊科公民館
11月 23日	市シニア連 芸能大会	豊科公民館
12月 2日	市町村老連会長・事務局長会議	場所未定
2月	会報「あづみ野の風」第19号発行	

※上記のほか、市シニア連「役員会」「正副会長会」「文化部会」「会報部会」「体育部会」を随時開催予定 ※県シニア連、理事会、女性委員会など出席予定。

第五回市役所ロビー作品展 令和三年五月十二〜二十五日

第五回ロビー展を 振り返って

文化部長 上 條 強

五月十二日から二十五日までの二週間でした。昨年十一月豊科公民館で行なった作品展より、人気の多かった六十点を今回ロビー展に出品する事になり、参加者に依頼して了解を得ました。

作品数五十四点。内訳は工芸二十四点、絵画十三点、写真十二点、書五点でした。開催前日は準備の日で、役員全員集合で九時に集まり、三郷支所からパネル・机を借り、午前中に組立てし午後二時から搬入に備えました。多少の混雑はありましたが、次々に正面から飾り付けられました。毎年の事ですが、東側からの光が遮断され、残念を口にしながら取組みました。窓

際の掛け軸を吊るす時使うフック鍵が不足し、仲間の人が「俺が買って来る」と自費で買いに出た二人がおり、頭が下がる思

開場式テープカットが終り会場正面にて記念写真

いでした。五十四点の作品が整然と飾られたのは四時頃でした。十二日開催初日、役員は九時に集合、十時からオープニングセレモニー、来賓に市長 宮澤宗弘氏、福祉部長 矢口 泰氏を招き、藤岡会長の挨拶から始まりました。更にテープカットがあり十三日間の幕開きとなりました。市長さんの挨拶の中に「シニアクラブの皆さんの熱意が伝わってくる作品ばかりです。」との誉め言葉がありました。

長い期間ですが監視要員は置かない事になり、暇をみて時々は見に来て頂く事にしました。

最終日二十五日は、役員は午後二時集合で三時からの作品搬出に備えました。定刻三時にはほとんどの方が見えました。四時にはお借りしたパネル・机を軽トラ二台に積み込んで三郷支所に見送りして、心配したコロナの問題もなく打ち上げられ、本当に良かったと思われました。役員の皆様、ご苦勞様でした。



工芸作品が展示された多くの作品

中信ブロック研修会

筆頭副会長 澤 柳 伸

六月二十二日(火)松本市総合社会福祉センター大会議室に於いて十三支部から百十名が参加し開催されました。安曇野市からは活動事例発表者二名を加え十八名が参加しました。

十時三十分開会。シニア憲章唱和に始まり、県シニア連女性委員会の勝山孝子副委員長が司会を務められ、本年度から県シニア連の新会長に就任された藤岡 嘉会長が挨拶されました。続いて活動事例発表に移り今回は松本市、安曇野市、上松町、白馬村の四地区のクラブの発表がありました。安曇野市からは中賞長寿会(三郷)の鈴木文章副会長による映像を使った素晴らしい発表でした。

午後はNPO法人ライフデザインセンターの久島和子講師による「充実したシニアライフのために」と題する講演がありました。最近

は諸々の事情を反映して住み慣れた自宅で最後を迎えたい人が多くなっており判断力のある内に遺言書、リビングウイイル等を自分一人ではなく信頼できる人を交えて意志決定することが大切。在宅独り死になる場合は、キーパーソンが必要で在宅診療が受けられるよう

にしたい等、身に詰まされる思いでありました。最後に体操で体をほぐし一日を終えました。



中信ブロック研修会に110名が参加した会場の様子

県シニア女性指導者研修会

女性部長 勝 山 孝 子

老人クラブの名称がシニアクラブとなりその初代会長藤岡嘉会長の地元で開催される初の県連研修会です。北は小谷村、南は木曾郡王滝村より約百名近い女性会員が県安曇野庁舎に集合しました。十時三〇分開会です。

シニア憲章の唱和、藤岡会長の挨拶、女性委員副委員長の挨拶が終り、午前の講習は端切れ布で作るカードケース作製です。

県連女性指導員の指導のもと教科書を見ながら作業を続けます。始めは戸惑っていた男性会員も少しずつ製作に馴れ、立派なカードケースが出来ました。

午後は「スマホでできること」と題しソフトバンクの笠井さんにスマホの上手な使い方について講

演をお聞きしました。まだスマホを上手に使いこなせない人、ガラケーから乗り替えを考えている人にとっては実際にスマホを手にと取って操作することで勉強になったと思います。又無料でスマホ操作の事前講座も開催できるとのこと、これからの地区での研修の一案となるものと思います。



端切れで作るカードケースを作る藤岡会長と研修生

投句

峠路の松風騒ぐわらび狩り
梅雨空や実生の桐の五尺伸び
三郷ひびき会 小林清次
喜寿の我俳句一筋髪洗う
ばつと出し黄味のふたつよ最近し
三郷ひびき会 大沢文子
燃えつきし恋の終りか花ダリア
残り香に泣きし日もあり髪洗ふ
豊科藤倉春日会 小川初子

寺所ひさご会の活動

寺所シテクラフひさご会 会長 堀金 敏男

寺所ひさご会の現況は会員百二名で、男性五十七名・女性四十五名で活動しております。

三ヶ月に一回行なっている定例会・誕生会・懇親会はコロナ禍の影響で中止となり、会員と共に大変残念に思っています。

そんな中で野外での活動としてマレットゴルフ親睦会を開催しております。四月と十月、月二回の練習と七月と十月に親睦大会を計画し、会員の大切な交流の場となっております。又、花いっぱいコンクールに参加するため、区役員等と共に、多数の会員が花壇の植栽、水くれ、除草等に積極的に参加し、園芸部員の指導のもと和氣藹々と取組んでいます。会議等ができない中、情報発信のため「寺所ひさご会だより」を発行し、会員との意思疎通を図っております。

その他、カラオケ部・保養旅行部等はまだ活動できませんが、コロナワクチンの接種も徐々に進んできたようですので、一日も早いコロナ禍の終息を願いつつ、活動の一端を紹介させていただきます。

「公民館をフルに活用」

等々力町白寿会会長 古幡 道子

等々力町は、一昨年に公民館を新築したので、広くてきれいな公民館を使わせていただき、コロナ禍でも換気や距離に配慮しながら集まる機会を作っています。また、敷地内に花壇があるので、花壇作りは張切つてやっています。五月二十二日には、地区社協と共催の「交通安全教室」があり、交通安全の啓発に活動して



交通安全教室で講師より指導を受ける会員の方々

いるグループの寸劇を観ながら、楽しく勉強しました。手作りカレー会食も、広い庭を眺めながら行なうことができました。

白寿会は、総務・園芸・旅行・体育・女性と、それぞれの部に責任者をおいて事業を行っています。参加するのは全会員ですが、おかげでスムーズに活動ができています。昨年は出来なかった旅行やお楽しみ会が秋過ぎに出来ることを願っています。

「活動の中止」をする前に

三郷野沢長寿クラブ 松村 淨

当クラブは、「明るく、心豊かに、健康かに」をモットーに活動しています。生きがいをもって、安心安全な暮らしを願うものです。

現下、コロナ禍にあり活動が思うようにできず、自粛や中止をせざるを得ないこともあります。中止することは簡単です。会員からは「何とか活動を維持しなければ疲弊するばかり」と今後のクラブ活動を危惧する声もあります。

昨年コロナ不安の中、保養旅行を実施しました。会員からの「旅行を

企画してほしい。楽しみだ。」との要望を受けて、役員・担当者会、また、業者との連絡も密に、計画を練り実施にこぎつけました。旅行中は、例年の旅行と違って制約が多くありましたが、楽しい一泊二日の旅だったようです。

「中止の決定をする前に、コロナ禍の現状を踏まえ、実施するには何が課題なのか、それを解決するための具体的対処は何か」を考え合った事は良かったと思います。

ワクチン接種が始まりましたが、感染力が強いといわれるインド型変更ウイルスの感染の広がりが懸念されます。本年度も、うきうき体操、健康マージャン、マレットゴルフ、花壇づくりなど、一層の予防策を講じながら活動の輪を広げていきたいと思っています。

「健康で百歳を越えるぞ」

荻原シテクラブ会長 小出 芳正

荻原シテクラブでは、六月二十日（日）市の沿道緑化推進事業を活用してのプランターへの花の植付け作業を行いました。会員数八十五名ですが、新型コロナウイルス感染防止の為、役員組長合わせて十六名で五十五個のプランターへ市より提供された花の苗を植え付け、区内を通る県道八十五号線・市道沿線及び公共施設十八ヶ所へ配置し、三ヶ月に及ぶ管理が始まりました。五月より花いっぱい運動花壇審査に向けての準備も進めております。

荻原シテクラブでは、年二回延べ六十名参加による荻原神社境内の清掃活動、市の業務委託による、区に隣接する市営公園の清掃管理作業



プランター植付け作業が終了、三唱を三唱

を、月二回の巡回、年六回の草刈清掃・除草剤散布延べ百四十名の参加により行なっております。今年度は新型コロナウイルス感染の早期終息を願い、親睦を深めるための行事を計画し、予算計上しました。総会に於いては「自分で出来ることは自分でやるぞ」「若い者には負けないぞ」「健康で百歳を越えるぞ」と頑張ろうスタイルで三唱しめております。

会員の結束を深める活動を！

上堀シテクラブ会長 丸山 宏充

安曇野市老人クラブ連合会は、本年四月から新しく名称が「安曇野市シニアクラブ連合会」に変更されました。私たちのクラブも、安曇野市に倣って「上堀シニアクラブ」に変えようと思います。

当クラブ現況は、男二十九名、女二十二名で組織され年間を通じて様々の事業活動を行なっています。主なものは、春の伊那市方面のイチゴ狩り、秋の一泊旅行、市シニアクラブ主催の花壇コンクール・芸術祭

等に参加しております。中でも花壇作りは、水くれが一番重要な作業で、少しでも怠ると、花の成長が悪くなり大変です。

第18号 編集後記

シニアクラブ連合会に名称変更して最初の会報です。長年の老人クラブ名から脱皮して個人・単位クラブの夫々において一新したいもので、また、六月から藤岡会長が県シニア連合会長に推挙されました。双方においてリーダーシップを発揮されることをご期待申し上げます。更に今年度号にもご寄稿下さった宮澤市長には、多年に亘りシニア連の諸々の活動に来賓・共催者としてご来臨下さり、誠にありがとうございました。

幸い市内に於いてはコロナ感染者が少なく落ち着いていることから総会、市役所ロビー作品展が実施でき、続いて県シニア連中信ブロック研修会、女性指導者研修会も開催。加えて各支部の単位クラブから活動報告書が寄せられ掲載できました。

コロナ関係では、大方の会員が二回目のワクチン接種を間も無く終えられ一安心ですが、一方で、首都圏の感染拡大に歯止めが掛からず、安心を指しているオリピックでも無観客開催になり、自宅でのテレビ観戦となりました。ともあれ会報が完結でき、有意義な東京五輪になってもらいたいと願うばかりです。

会報部長 澤柳 伸